

カーボンニュートラルを実現する、夢のエネルギー源。
環境メガトレンド投資の大本命

ワンポイント
One Point

水素

nikko am
Nikko Asset Management

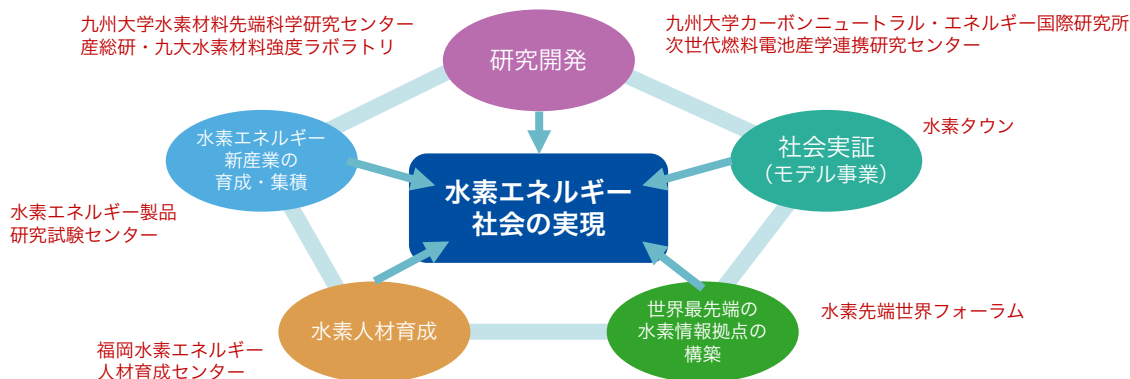
vol.17

福岡県内で進む水素の積極的な利活用

国の目標より10年早い2040年度に温暖化ガスの排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を掲げる福岡市。市内にある九州大学の水素エネルギー国際研究センターは、水素エネルギーの世界有数の拠点として注目を集めています。理論研究から実証実験まで一貫して行なうことができるのが強みで、燃料電池自動車(FCV)関連の研究では世界の最前線を走っています。学内には、複数の研究拠点のほかトヨタ自動車や東京ガスなど10社程度の企業が研究室を置くなど、産学連携で研究・開発に取り組んでいます。

また、人口が多い中央区や博多区を管轄し、市内で最大の処理能力を持つ中部水処理センターでは、産官学一体で、下水処理時に出る汚泥から水素の製造を進めています。施設内には、生成された水素を燃料電池自動車(FCV)に充填できる水素ステーションがあり、1日あたり65台分の供給能力があります。

■福岡水素戦略：水素エネルギー開発・普及を総合的に推進する全国唯一の取組み



※福岡水素エネルギー戦略会議ホームページ、各種報道等より日興アセットマネジメント作成

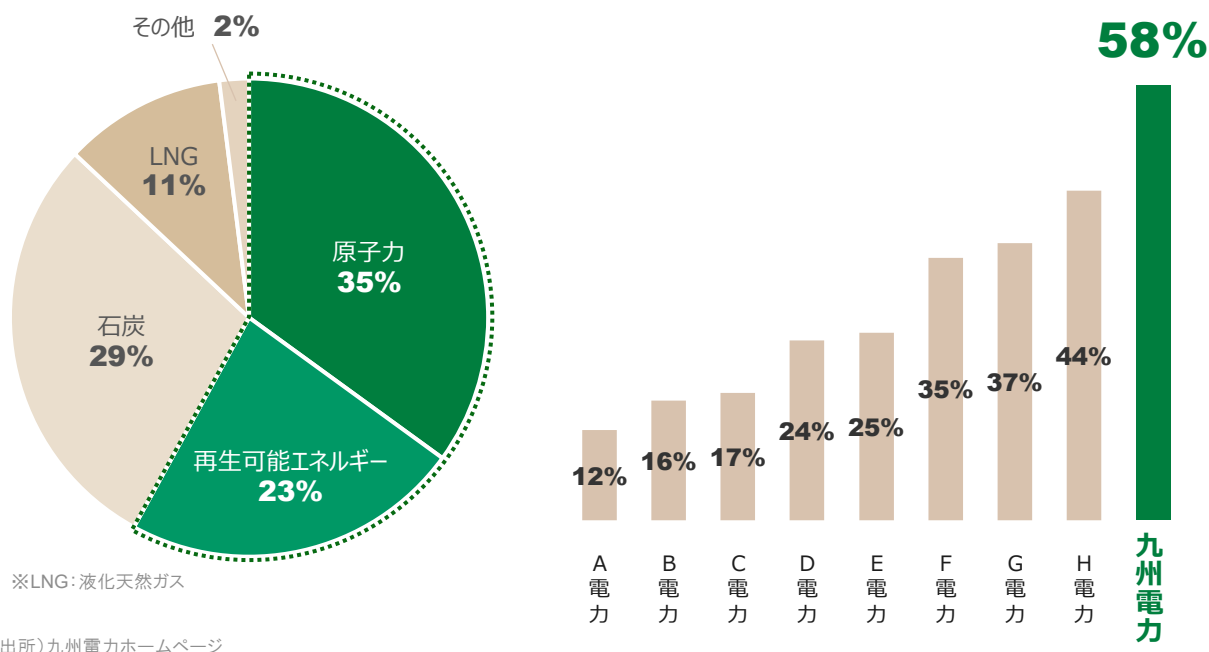
※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

北九州市では、市が出資する新電力の北九州パワーが、再生可能エネルギー由来の電力を使い、グリーン水素(製造過程でCO₂を出さない)をつくる実証事業を本格的に開始しています。太陽光や風力、バイオマスによって生み出された電力の余剰分を使って水素を製造・圧縮し、福岡市・北九州市・久留米市に輸送し、燃料電池自動車(FCV)やフォークリフト、水素実証住宅などのエネルギーとして利用します。

原子力や再生可能エネルギーの活用により、CO₂を排出しないクリーンエネルギーの発電量に占める比率が58%(2019年度)と高く、我が国における脱炭素化の先端地域と言われる九州。そのなかでも積極的な水素の利活用を進める福岡県の取り組みに注目が集まります。

■九州電力の電源比率と他社比較 (2019年度)



※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。